

2019年度国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査(改訂第4版)講習会 報告

日時：2019年7月18日～20日（木～土）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター



長梅雨が明ける前の7月18日～20日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、検査（改訂第4版）講習会が行われました。従来まで2日間で行われていた検査講習会でしたが、今回は検査結果及び評価のまとめ実習が加わり、3日間での開催となりました。

本講習会は、講義と実習で構成されています。講義では、検査の概要や症状分類といった総論や、一般的手続き、チェックリスト・コミュニケーション、ノーマルデータ等の各論、また FOSCOM や質問 - 応答関係検査の領域別検査についても学びました。実習は、5～6名の小グループにチューターが1人付く形で行われ、実際に検査用具を使って一人ずつ検査者役と被検者（子ども）役に分かれて検査の手続きを確認する実習では、それぞれのグル

ープが和気あいあいとした雰囲気の中で、具体的な手続きと、子どもの反応に応じた刺激の出し方の変化なども丁寧に振り返ることができました。また、データから結果や評価のまとめにつながる過程を確認しながら検査用紙に記述する実習では、個人個人の疑問をその場でチューターに確認しながら進めることができたのではないかと思います。

盛りだくさんの内容で 3 日間というスケジュールではありましたが、どのグループも真剣に、かつ和やかな雰囲気で行われていたのが印象的でした。全国各地から集まった受講者同士が、それぞれの地域の特色や日々の臨床で悩んでいることなどについて話し合う姿もみられ、検査法を学ぶプラス α の充実した 3 日間を過ごせたのではないかと思います。

【参加者の声】

- 先生方の講義のお話もそうですが、臨床の様子もお話いただいて、とても参考になりました。
- 小グループ制だったので、チューターの先生にすぐ質問できたり、グループの方と質問し合いながら学ぶことができ良かったです。検査の教示の仕方や誤答時のフィードバックなど、働きかけの意味を考えながら、実践していけるように練習していきたいと思いました。
- グループの他の受講者の方ともお話する時間が沢山あったので、情報交換できたことも有意義でした。
- <S-S 法>のみでなく、FOSCOM や質問-応答の講義もありとても充実していた。
- 訓練プログラム講習会も受講してみたいと思いました。

- 毎年関東なのでなかなか来られなかった。できれば関西圏でも開催していただくと嬉しいです。

